

# 令和7年度 第2回 秋田市在宅医療・介護連携セミナー アンケート結果

開催日時：令和7年11月28日（金） 18:15～20:00

会場：秋田県 J A ビル 8階大会議室

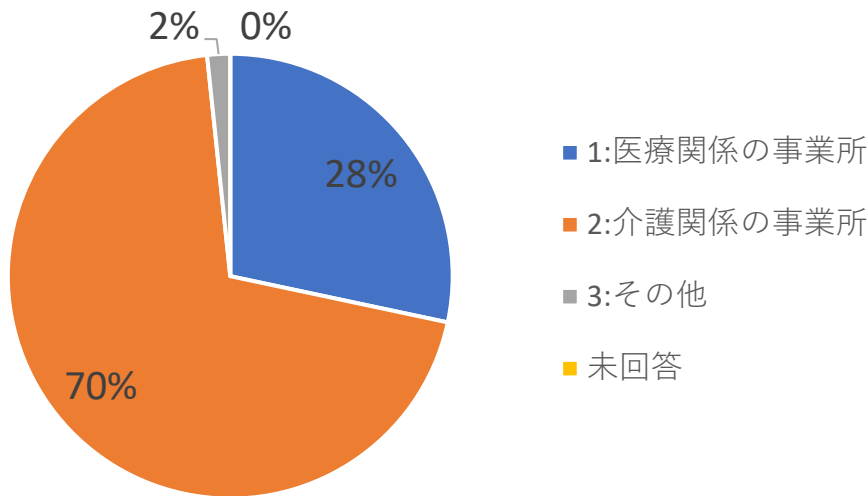
参加者数：64人

(医師名2名、歯科医師1名、薬剤師6名、看護師14名、MSW1名、介護支援専門員21名、施設相談員7名、施設長・管理者5名、介護職員3名、包括職員2名、管理栄養士1名、歯科助手1名)

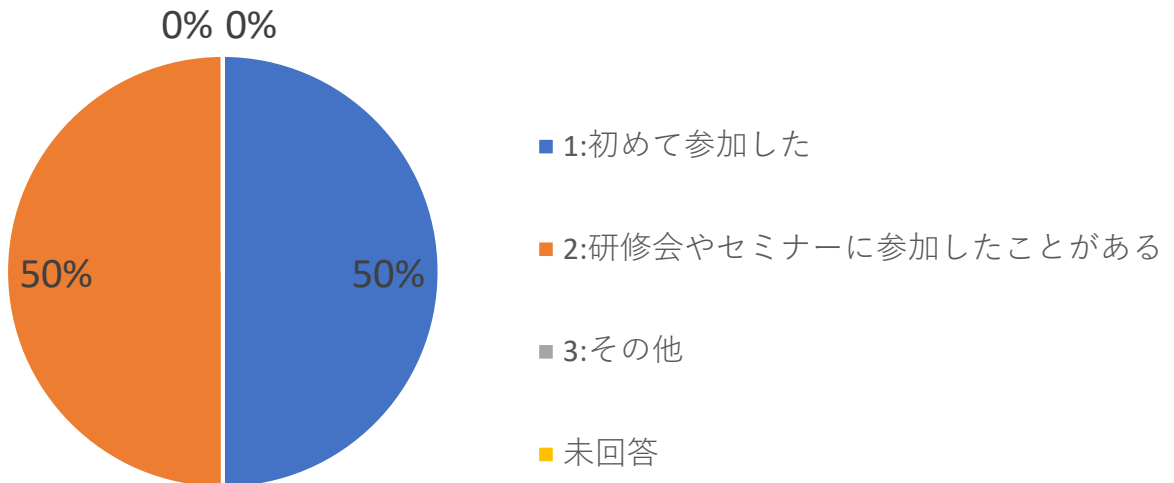
回収率：93.7%

## I 本日の研修会について

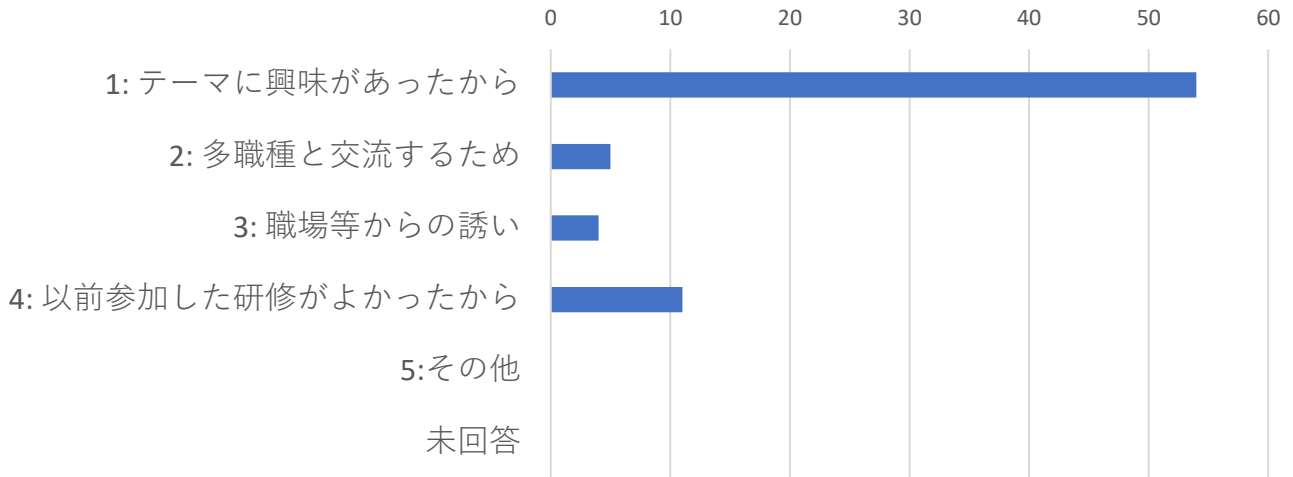
問1 勤務先の事業所の種類について



問2 本センターが開催するセミナー等への参加について

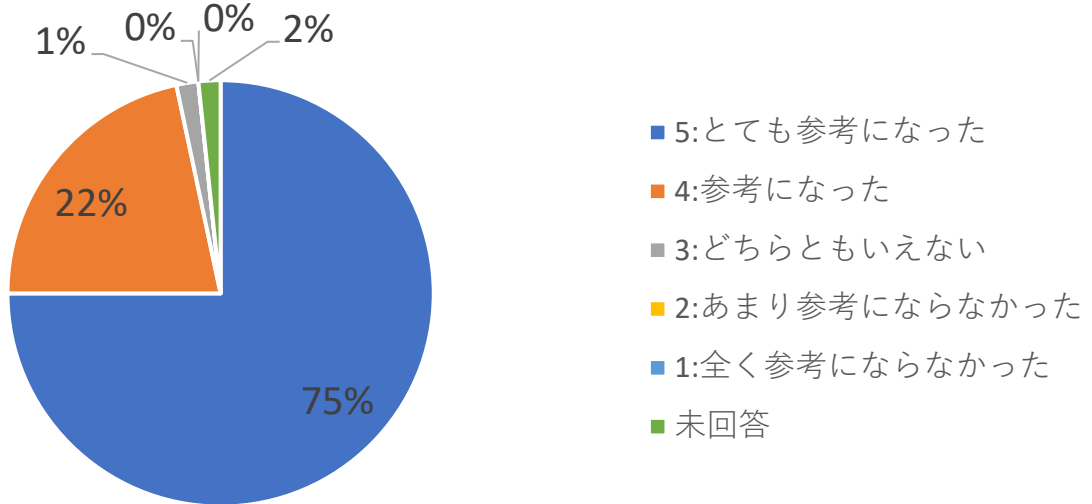


### 問3. 本日の研修会に参加した理由

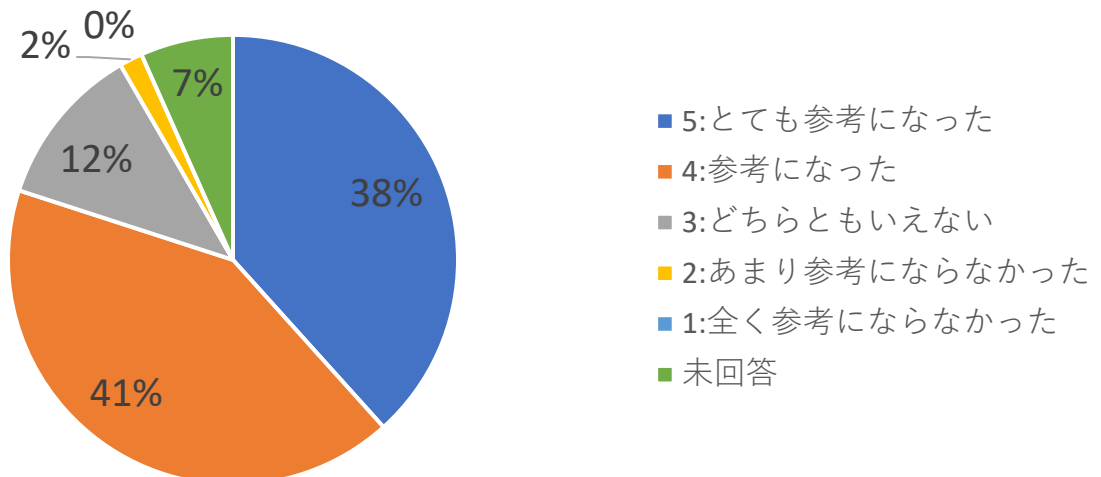


### 問4. 感想

#### ア 講演1 「最期まで支えるためのケアとは」



#### イ 講演2 「施設での看取りに関する取り組み」



## ア 講演1「最期まで支えるためのケアとは」感想の理由

- ・看取りの支援について、また振り返りが大切であること。
- ・丁寧な聞き取り、ケアの手と言葉の力という言葉が心にしみました。
- ・話がスムーズだった。
- ・実践、経験からの説得力がありわかりやすかった。
- ・意味の分からない単語が多すぎる。ACP、イニシアティブ、アドバンスディレクティブ。分からない人にもわかる言葉を選んでほしい。
- ・看取りに対することの心構えや考え方を学ぶことができた。何人か在宅での看取りをしたことがあるが、任せっぱなしになっていたので、自分にももっと関われるようにしたい。
- ・ターミナルケアに携わる立場としての気持ちの持ち方、家族との信頼関係も重要であるという点で再確認した。「ケアの手、言葉掛け」が大事。そして、今までの経験値が役に立つ。家族の不安軽減、看取った後の達成感を感じてもらえる。それもケアの一つであると気付いた。
- ・在宅看取りについて興味があり、私自身訪問看護師として活かしていきたいと思った。
- ・看取りについての考え方や対応について知識を深めることが出来ました。特に看取りを家族に返すという言葉が強く残っています。
- ・願いを叶えるケア、事例も通して感銘しました。
- ・看取りの利用者さんがいるので、とても勉強になった。
- ・施設で看取りをしています。今後の看取りの参考にしていきます。
- ・我が施設では看取りは看護中心であるが、とにかく良きチームを作り、本当にその人にとって生き切ったと思われ、またそれを看取ったチームもやり切ったという気持ちと余裕を持っていきたい。
- ・中村先生のご講演が素晴らしかった。もっと聞きたかった。
- ・「生き切る」ための伴奏者になるという言葉に考えさせられ糸口となる考え方を学べた。
- ・最期まで支えるケアとして具体的に理解することができた。体験談がとても興味深く、もっと聞きたかった。
- ・施設で管理栄養士として働いています。モチベーションを上げてケアを提供していると奇跡が起こる…。亡くなる1週間ほど前でもかなり調子が悪かったであろう利用者様が私を見た時にスプーンを握り直し食事をしようとした、そのシーンを思い出し、グッときてしまいました。患者様が見せてくれる奇跡に寄り添いたいです。
- ・具体的なお話が多く、大変参考になりました。
- ・看取りの方への接し方や家族に対する姿勢を学ぶことができた。
- ・心に響くキーワードがたくさんあった。
- ・心に残る言葉がたくさんありました。
- ・病院での看取りはたくさん経験してきましたが、在宅での看取り経験は少ないので、伴奏者、看取りは延長上のものという考え方を意識したいと思いました。
- ・これまでの経験に基づいており参考になりました。
- ・今担当している方の関わりに参考にできることがたくさんありました。ありがとうございました。
- ・中村先生のお話が身に染みた。
- ・自分の家族の看取りを思い出し、良い振り返りになった。
- ・中村理事長が経験したお話が良かった。
- ・本人だけでなく、家族もまるごとケアをしていくという視点が、今自分が頭を悩ませている部分だったので、とても参考になった。

## イ 講演2「施設での看取りに関する取り組み」

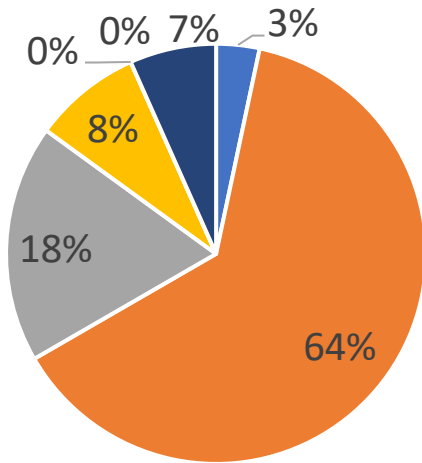
- ・心を込めたケアをしていることが伝わりました。
- ・知らないことばかりだったから。
- ・2施設の1施設のみの説明で残念だった。生の声を今度は聞きたいです。
- ・分かりやすかった。
- ・施設での看取りの取り組みを知ることが出来たことが良かった。
- ・シフト職員同士の情報共有が大事と感じた。誰でも変わらないケアを行えるよう。
- ・スタッフ一同の協力、チーム力が大事だと感じた。
- ・多職種連携が必要、大事だということを学ぶことができた。
- ・施設での看取りも本人に寄り添ってくれており、家族への対応もされていてこのような施設もあるのだとわかりました。
- ・看取りを始めたきっかけから取り組みの経過が参考になりました。
- ・看取りの利用者さんの事を考えてくれている施設だと思った。
- ・施設の説明のみに止まった印象があります。
- ・施設での看取りに関する取り組みを実際に知ることができ参考になった。
- ・施設での看取りを決意された勇気や実行力に感動しました。
- ・施設での看取りに関して、職員としっかり情報等を共有しているところを職場でも活かしていきたいと思う。
- ・施設での現状が理解できた。
- ・施設での取り組みや悩みもわかりました。
- ・施設の特徴がよくわかりました。
- ・施設での対応などを知れて良かったです。
- ・施設がここまで真剣に看取りに取り組んでいることが分かって良かった。
- ・施設での具体的な取り組みを知れて良かった。
- ・サ高住自体が看取りとは程遠いサービスというイメージがあったため新鮮だった。

問5. 今後取り組んで欲しいテーマや内容、進め方などがあれば記入して下さい。

- ・在宅でのケアの工夫の実際（服薬管理やインシュリン、褥瘡処置などの医療処置など）
- ・多職種連携について
- ・訪問看護サービス事業所の比較、PR、病院併設、得意分野、専門性の強みなど
- ・クレーマーの家族様の困難事例など、どのように対応すべきか対処法を取り上げて欲しい。
- ・引き続き看取りについてお願いしたい。
- ・肩の力を抜いて周りの方の気持ちを聞き入れ、とにかく自分だったらという気持ちを持っていきたいと思えます。私ももう年を取っていますので。
- ・看取りケアの第2回目を実施してほしい
- ・命の最期を支える、寄り添う食事について学ばせてもらいたいと思えます。
- ・特定看護師であれば遠隔死亡診断ができると伺っています。診察はオンライン診療でもよろしいか等。
- ・在宅看取りの事例ケースの紹介があれば知りたい。（症状、関わり、実際の連携について）
- ・特養の看取りについて興味があるので、看取りに移行するまでの過程や看取り介護の良い事例、反省事例等を含めた実際について知りたいです。

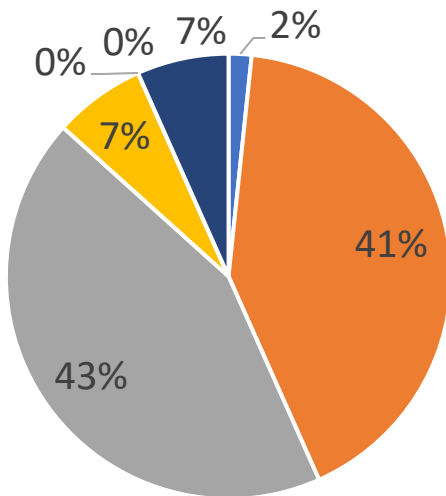
## II ACPについて

問6. ACPについて理解していますか



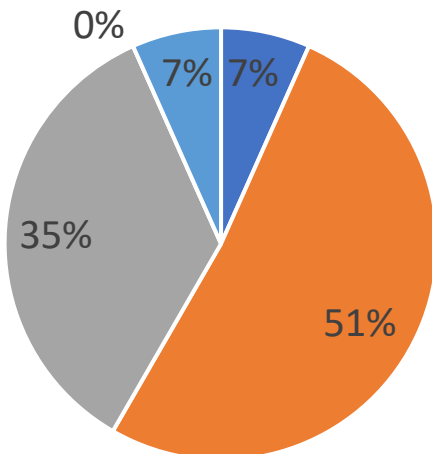
- 1:よく理解している
- 2:おおむね理解している
- 3:どちらともいえない
- 4:あまり理解していない
- 5:全く理解していない
- 6:その他
- 未回答

問7. 業務の中でACPを意識して患者（利用者）さんや関係者と接していますか



- 1:常に意識している
- 2:おおむね意識している
- 3:どちらとも言えない
- 4:あまり意識していない
- 5:全く理解していない
- 6:その他
- 未回答

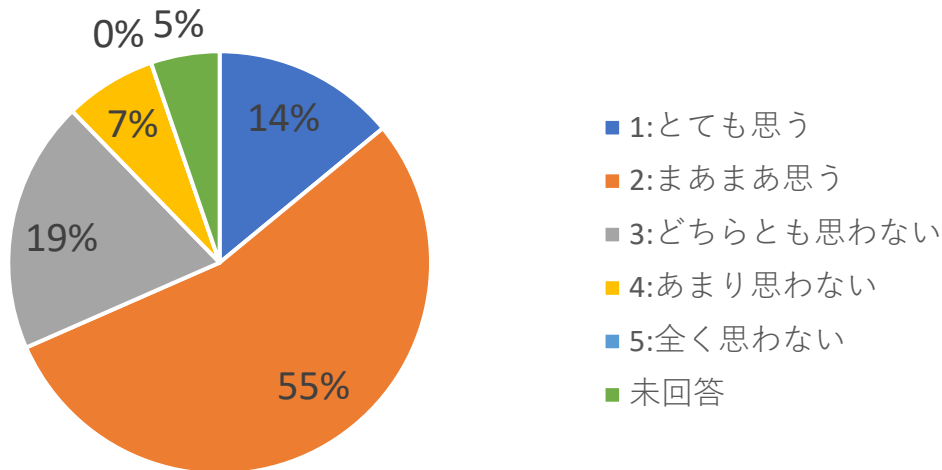
問8. 在宅療養のしおりを使用していますか



- 1:説明などに使ったことがある
- 2:見たことはあるが使ったことはない
- 3:見たことがない
- 4:その他
- 未回答

### Ⅲ その他

問9. 身近では多職種連携が図られていると思いますか



問10. その他ご意見、ご感想を自由にお書きください。

- ・時期も感染症拡大の季節の為やお客様の都合等で講話が中止になるのはやむを得ませんが、楽しみにしていた部分もあり、会場で知ることを期待していた分とても残念でした。今回は、講師の努力がとても感じられましたので、良かったです。感謝です。
- ・正解はないことだけど、必ず死は避けて通れないこと。すごく良い話を聞いた。
- ・寄り添ってくれるDrとそうでないDrがいるということ。連携という事で理解して欲しいと感じる時があります。
- ・看取りケアについて、今までのケアを思い返すことができ、今後のケアに役立てていきたいと思いました。施設の状況も知ることができ、施設に対する考え方が変わりました。
- ・私も何人も看取ってきましたが、今思うと、とにかく仕事としていっぺん通りであった事を反省します。中村先生の話聞く事で、気持ちが明るくなりました。なぜに私はこの私を40年以上やっているのか…という事も吹っ切れた思いです。
- ・こういう企画はいいと思う。今年度第2回だが、もっとやってほしいです。
- ・在宅介護ではかかりつけ医との連携にハードルを感じる。可能であれば、統一された様式等を使用し、気軽に医師とFAX等でもいいので連携が図ればと感じる。また、医療へ介護から情報提供を行うことはあるが、その逆はほとんどないこともあり、利用からの情報提供をもっとお願いしたい。
- ・今日はとても参考になったことがたくさんありました。ありがとうございます。月末、月初は忙しい時期であり、できれば10～20日の間に開催していただければ助かります。
- ・尊敬している薬剤師さんからのご紹介で飛び入りで参加させていただきました。先週、最後まで口から食べることを諦めなかった患者様の看取りに何も出来ませんでした。参加させてもらいました。もっとできることはなかったのかと未だに思いますが、息が止まったその時に傍にいられたことは患者様が「私を選んでくれたんだ」と思えるように、患者様の願いに応えられるように働きたいと思いました。仕事を見つめ直す良い機会となりました。ありがとうございました。
- ・看取りの方の担当をさせていただくことが多くなりました。訪問看護師さんの力は本当に大きいと痛感しています。頼りにするだけでなく、ケアマネとしてもその方やご家族に寄り添い、その方らしく生きていくお手伝いをしていきます。
- ・長谷山先生のお話が大変参考になりました。
- ・大変勉強になりました。またこのような機会があると嬉しいです。ありがとうございました。
- ・うぐいす城東さんの講義を目当てに参加したので残念でしたが、他の講演をゆっくり聞くことができ、有意義な時間となりました。